

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分  
 【発行日】令和 2 年 4 月 30 日 (2020.4.30)

【公開番号】特開 2018-158548 (P2018-158548A)  
 【公開日】平成 30 年 10 月 11 日 (2018.10.11)  
 【年通号数】公開・登録公報 2018-039  
 【出願番号】特願 2017-58009 (P2017-58009)  
 【国際特許分類】

**B 4 1 M 5/52 (2006.01)**

**B 3 2 B 7/027 (2019.01)**

**B 4 1 M 3/06 (2006.01)**

【F I】

B 4 1 M 5/52 1 1 0

B 3 2 B 7/02 1 0 5

B 4 1 M 3/06 F

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 3 月 16 日 (2020.3.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

基材の一方の面に形成され、インクを受容することが可能なインク受容層と、  
 前記インク受容層上に形成され、熱膨張性材料を含む熱膨張層と、を備え、  
前記インク受容層は、前記基材と前記熱膨張層とに対して接着性を有し、アンカー層と  
して機能する、

ことを特徴とする熱膨張性シート。

【請求項 2】

前記熱膨張層上に形成された第 1 のインク受容層を備え、  
 前記第 1 のインク受容層は、前記インク受容層と同じ材料から形成される、  
 ことを特徴とする請求項 1 に記載の熱膨張性シート。

【請求項 3】

基材の一方の面に形成され、インクを受容することが可能なインク受容層の上に、熱膨  
 張性材料を含む熱膨張層を形成する工程を含み、  
前記インク受容層は、前記基材と前記熱膨張層とに対して接着性を有し、  
前記インク受容層をアンカー層として機能させる、  
 ことを特徴とする熱膨張性シートの製造方法。

【請求項 4】

前記熱膨張層上に第 1 のインク受容層を形成する工程を更に含み、  
 前記第 1 のインク受容層と、前記インク受容層とを同じ材料から形成する、  
 ことを特徴とする請求項 3 に記載の熱膨張性シートの製造方法。

【請求項 5】

熱膨張性材料を含む熱膨張層を形成する熱膨張層形成工程を含み、  
 前記熱膨張層形成工程では、インクを受容することが可能なインク受容層を最表面に有  
 する基材を用い、  
 前記インク受容層を前記基材と前記熱膨張層との間におけるアンカー層として機能させ

るために、前記熱膨張層を前記インク受容層に接するように形成する、  
ことを特徴とする熱膨張性シートの製造方法。

【請求項 6】

熱膨張性材料を含む熱膨張層を形成する熱膨張層形成工程を含み、  
前記熱膨張層形成工程では、インクを受容することが可能なインク受容層を最表面に有する基材を用い、

前記インク受容層を前記基材と前記熱膨張層との間の接着力を高める層として機能させるために、前記熱膨張層を前記インク受容層に接するように形成する、  
ことを特徴とする熱膨張性シートの製造方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明に係る熱膨張性シートは、  
基材の一方の面に形成され、インクを受容することが可能なインク受容層と、  
前記インク受容層上に形成され、熱膨張性材料を含む熱膨張層と、を備え、  
前記インク受容層は、前記基材と前記熱膨張層とに対して接着性を有し、アンカー層として機能する、  
ことを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明に係る熱膨張性シートの製造方法は、  
基材の一方の面に形成され、インクを受容することが可能なインク受容層の上に、熱膨張性材料を含む熱膨張層を形成する工程を含み、  
前記インク受容層は、前記基材と前記熱膨張層とに対して接着性を有し、  
前記インク受容層をアンカー層として機能させる、  
ことを特徴とする。